

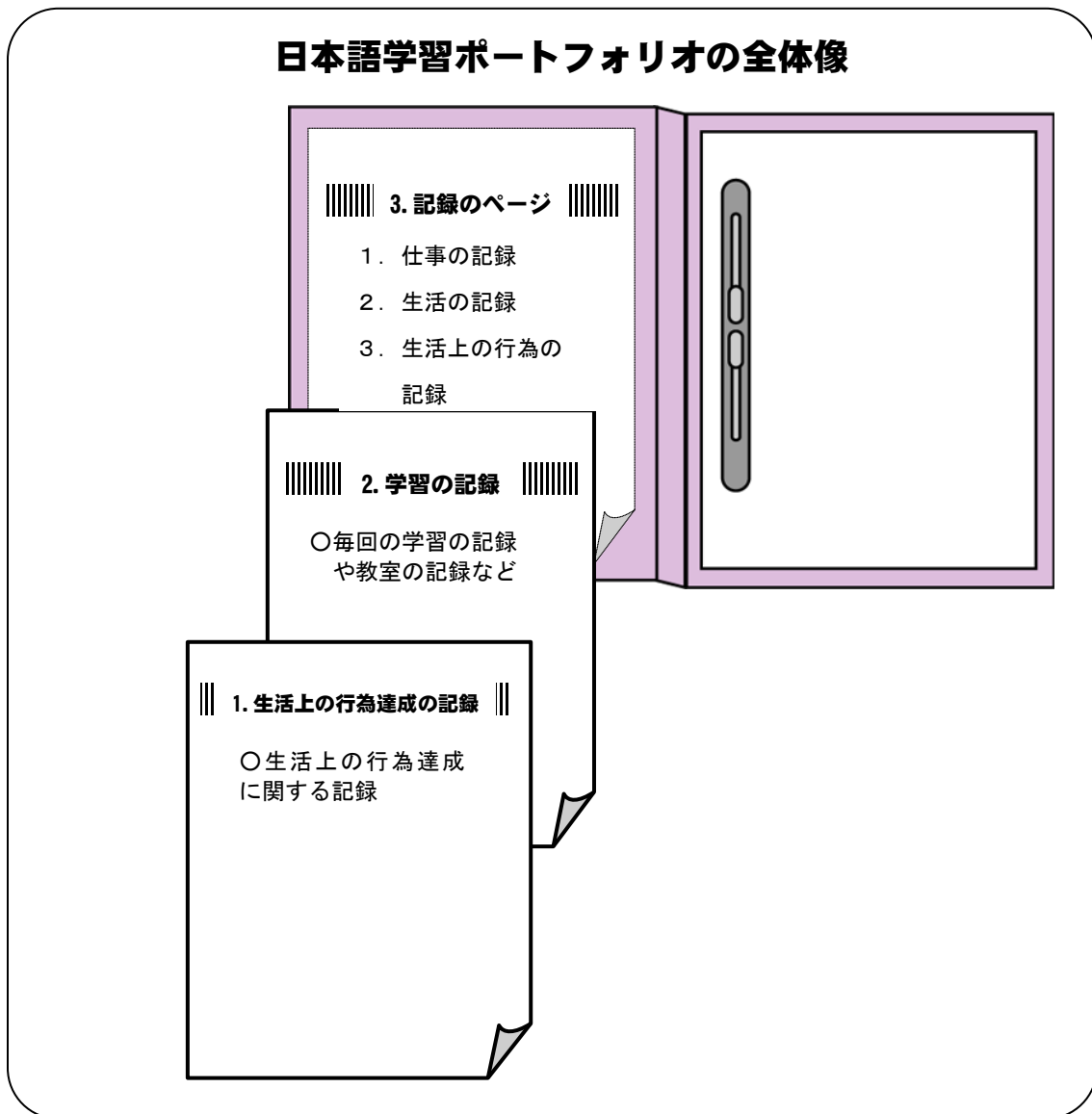
能力評価に関する検討の具体的な成果物について（たたき台）

能力評価ツール（たたき台）

1. 能力評価ツールの目的

日本語教育小委員会での議論を踏まえ、本能力評価ツール（たたき台）は、(1) 日本語学習および周囲とのコミュニケーションの動機継続につながるものであること、(2) 学習者の継続的な学習支援につながるものとして活用されることを目的として作成。

2. 能力評価ツールの概要



日本語学習ポートフォリオ

学習者が、自らの学習、生活（滞在）、就業の履歴を記録するポートフォリオであり、以下の1～3の内容を含む。主に学習者が自分の日本語学習状況を把握すること、学習支援者が学習者の日本語学習状況を把握し、日本語教育プログラムに役立てることを想定しています。

1. 生活上の行為達成の記録

「生活上の行為」をベースとしたタスクのリスト。自身が学習した項目について、学習した場所、日付、評価（自己評価、他者評価）を記録する。

2. 学習の記録

日本語教室（学校・機関）等について、教室の名前、期間、曜日、時間、使用教材を記録する。日本語教室での毎回の学習ごとに、日付、支援者の名前、学習テーマ、修得事項、今後の希望、全体の振り返りについて記録する。支援者のコメントも得る。

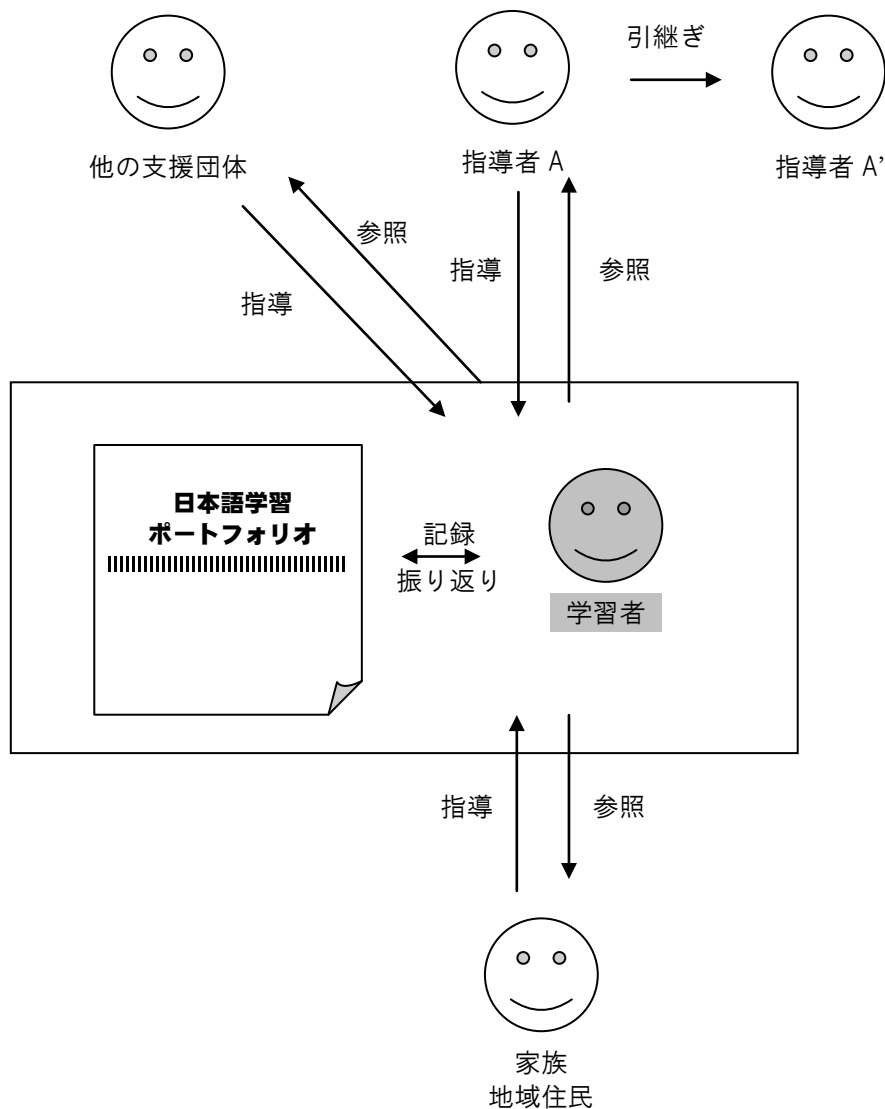
3. 記録のページ

居住開始年月、居住地、仕事、日本語教室外での生活上の行為などを記録する。

学習者がこれらの記録を携帯し、日本語学習支援者らと共有することにより、次のような効果が期待される。

- 学習者自身が、日本語教室等での毎回の学習において、何を学び、どのような成果を修めたのかを振り返る材料とする。
- 学習者自身が一定の期間のうちに何を学び、どのような成果を修めたのかを振り返る材料とする。これにより、今後の学習の目標を立てやすくし、動機の持続を促す。
- 学習者が、周囲の人（家族、地域住民）と共有することで、コミュニケーションのきっかけとなり、学習の動機付けとなる。
- 日本語学習支援者と共有することにより、日本語学習支援者は学習者の学習の過程を把握し、適切な支援を行う資料とする。
- 学習者が、転居などにより日本語教室を移動した際に、受け入れ先の支援者が参照し、継続的、効果的支援を行う。
- ロールプレイ等のタスクにより、生活上の行為がどの程度できるようになったか図ることで、学習者の日本語能力の現状を知り、今後の学習計画や学習目標の設定を行う。

各ポートフォリオと周囲の関係



だれが	どう使うか
学習者	できるようになったことを確認する。 これからの日本語学習の目標や計画を立てる。
指導者	学習者と一緒に日本語学習の目標や計画を立てる。 できることを確認し、教室活動を考える際の参考とする。
家族や地域住民	できることを確認するだけでなく、必要な支援を知る。

日本語学習ポートフォリオ

日本では、日本語がコミュニケーション手段として使用されることが多く、日本語の学習が同じ地域で暮らす人や職場の同僚、学校の先生などとのコミュニケーションをスムーズになります。また、地域で暮らし、日本語を使って生活できるようになるためには、日常生活で行われる行為が日本語を使ってできるようになるための日本語を勉強する必要があります。

この「日本語学習ポートフォリオ」は、日本語を使って生活できるようになるために必要な日本語学習について記録するためのものです。「自分が勉強したこと」「自分ができるようになったこと」「自分がこれから勉強したいこと」を記録し、周りの日本語教室の人と共有しながら、日本語学習の計画を立ててください。

この「日本語学習ポートフォリオ」では日本語を学習の目的・目標を次のように考えています。

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、日本語で意思疎通を図り生活できるようになること。

【目標】

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようになること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようになること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようになること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようになること

この目的、目標を達成するために、**【生活上の行為達成の記録】****【学習の記録】****【記録のページ】**を用意しています。

(※ほかに自分が記録したいことや周りに伝えたいこと、必要だと思う情報は自由に新しくシートを作ってください。)

【生活上の行為達成の記録】では、あなたの日本語の学習について、どこで、どのくらい学習したのか。そこでは、どんなことを目標にして学習をしたのか。その結果、どんなことができるようになったのかを記録します。

【学習の記録】では、あなたが日本語でできるようになったことについて、いつ学習したのか、どのくらいできるようになったのかを記録します。

【記録のページ】では、あなたが、これまでに日本のどこに、どのくらい住んでいたのか、自分の国や日本で、これまでにしてきた仕事のことを記録します。

- この記録を振り返り、これまでに自分が日本語でできるようになったこと、これからできるようになりたいことを考えてみましょう。
- この記録を家族や近くに住んでいる人にも見せてみましょう。あなたが日本語を使うきっかけになるだけでなく、周りの人たちがあなたを助けてくれるきっかけになるかもしれません。
- 引越しなどで日本語教室が変わったときは、新しい日本語教室の人にも見せてください。新しい日本語教室の人は、あなたの学習を助けるための情報が必要です。これを見ることで、あなたに合った学習を用意してくれるでしょう。
- この記録は、新しい学校に行くときや仕事を探すときにも役立ちます。新しい学校や会社の人たちは、あなたが日本語を使って何ができるのかを理解してくれるはずです。
- ポートフォリオをなくしてしまったら、日本語教室の人とまた一緒に作ってください。一緒に記録を作り直しながら、また、これからの目標や計画を立ててください。
- また、日本語を学習してできるようになったことを日本語教室の人と一緒に確認するためのタスクを用意しています。タスクはテストではありません。ロールプレイや実際に日本語を使って何かをしてみて、どれくらいできるようになったか確認しましょう。できるようになったこと、まだ勉強が必要なことを確認して、これからの日本語学習の目標を日本語教室の人と一緒に考えましょう。

日本語を使ってできるようになったことを確認するために、日本語教室の人と【**タスク**】を行い、その結果を【**生活上の行為達成の記録**】に書きましょう。

また、教室の外でできたことは【**3. 記録のページ**】の【**3-3 生活上の行為の記録**】に書きましょう。また、教室の外でできたことは日本語教室の人にも確認してもらって、その結果を【**生活上の行為達成の記録**】に記入しましょう。

【**タスク**】はテストではありません。日本語教室の人と一緒にロールプレイなどを行い、自分ができるようになったことを日本語教室の人と確認してください。そして、その結果を基に、これからの日本語学習の計画や目標を一緒に立ててください。

- タスクには次のようなものがあります。

	タスクの種類	内容	備考
1	ロールプレイ	実生活のコミュニケーションを役割を設定して演技を試みる	RP
2	聞き取り	ロールプレイをした後、他の人からロールプレイの内容について質問されたことを答える	聞取
3			
4			
5			

☆=うまくできた
○=なんとかできた
✓=できなかった

☆=目的を十分に達成
○=目的達成
✓=もう一息

【生活上の行為のリスト】

生活上の行為	4技能 /情報	年月日	場所 (教室名)	私の 評価	先生の 評価
I 健康・安全に暮らす					
01 健康を保つ					
(01)医療機関で治療を受ける					
隣人に容態を伝えて助言を求める (0101060)	話・聞				
<RP> 初診受付で手続をする (0102010)	話・聞・ 読・書				
<RP> 医師の診察を受ける (0103010)	話・聞				
病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する (0103120)	話・聞				
<RP> 医師とやりとりをする, 医師の診察を受ける (0103010) 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する (0103120)	話・聞				
(02)薬を利用する					
医療機関で処方せんをもらい, 内容を確認する (0201020)	話・聞・ 読				
症状を説明し, 薬を求める (0202050)	話・聞・ 読				
薬剤師等の「効能, 用法, 注意」の説明を理解する (0203070)	話・聞・ 読				
<RP> 医療機関/処方箋薬局で薬について聞く, 医療機関で処方せんをもらい, 内容を確認する	話・聞・ 読				

	(0201020) 薬剤師等の「効能, 用法, 注意」 の説明を理解する (0203070)					
	< R P > 薬局で薬を買う。症状を説明し, 薬を求める (0202050) 薬剤師等の「効能, 用法, 注意」 の説明を理解する (0203070)	話・聞・ 読				
(03) 健康に気を付ける						
	< R P > 流行性の病気についての情報を 理解し適切に対処する (0301090)	話・聞・ 読				
	食品や飲料水の安全情報を理解 する (0302010)	話・聞・ 読				
02 安全を守る						
(04) 事故に備え, 対応する						
	各種の標識・注意書き等を理解す る(高電圧危険, 感電注意, 立入 禁止等) (0401030)	話・聞・ 読				
	有効な施錠の仕方について理解 する (0402030)	話・聞				
	< R P > 警察(110番)に電話する(事 件等) (0403020)	話・聞				
	近くの人に知らせる(事件等) (0403040)	話・聞				
	< R P > 救急車を要請する (0404020)	話・聞				
	近くの人に知らせる(事故等) (0404070)	話・聞				

	<RP> 交通事故に対処する, 救急車を要請する (0404020) 近くの人に知らせる (事件等) (0403040)	話・聞				
	(05) 災害に備え, 対応する					
	自治体広報, 掲示, 看板等を理解し, 現地を確認する (0501020)	話・聞・読				
	避難場所・方法を理解する・人に聞く (0501030)	話・聞・読				
	☆地震について理解する (0502010)	情報				
	身を守る (0502020)	話・聞・読				
	天気予報・台風情報に留意し理解する (0503020)	話・聞・読				
	☆台風について理解する (0503010)	情報				
	<RP> 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する	話・聞				
	<RP> 災害時の避難場所の確認をする 自治体広報, 掲示, 看板等を理解し, 現地を確認する (0501020) 避難場所・方法を理解する・人に聞く (0501030)	話・聞				

※以下, 同様に。

<Ⅱ. 住居を確保・維持する>

住居を確保する

住環境を管理する

<Ⅲ. 消費活動を行う>

物品購入・サービスを利用する

金融機関を利用する

<IV. 目的地に移動する>

電車，バス，飛行機，船等を利用する

タクシーを利用する

徒歩で移動する

<V. 子育て・教育を行う>

*標準的なカリキュラム案で取り上げていない分類も入れるか否か

<VI. 働く>

*標準的なカリキュラム案で取り上げていない分類も入れるか否か

<VII. 人とかかわる>

人と付き合う

<VIII. 社会の一員となる>

住民としての手続をする

住民としてのマナーを守る

地域社会に参加する

<IX. 自身を豊かにする>

余暇を楽しむ

<X. 情報を収集・発信する>

郵便・宅配便を利用する

インターネットを利用する

電話・ファクシミリを利用する

マスメディア等を利用する



2. 学習の記録



【教室活動の記録】では、あなたが学習している日本語教室（学校・機関）について、教室の名前、機関、曜日、時間などを記録します。このページは、その日本語教室での**【毎回の学習の記録】**の表紙のページになります。

【毎回の学習の記録】では、日本語教室での毎回の学習のことを記録します。この記録は、日本語で書かなくてもかまいません。

- 毎回の教室ごとに、その日に日本語でできるようになったことや、難しいと思ったこと、またこれから学習したいと思うことを、振り返りましょう。
- この記録は、先生と話し合いながら記入しましょう。話し合いながら、日本語でできるようになったこと、これからできるようになりたいことを一緒に考えてみましょう。
- この記録を家族や近くに住んでいる人にも見せてみましょう。あなたが日本語を使うきっかけになるだけでなく、周りの人たちがあなたを助けてくれるきっかけになるかもしれません。

2-1 教室活動の記録

【例】

- (1) 日本語の学習をした教室や学校，機関の名前を書きます。
- (2) 日本語教室で日本語の学習を始めた年と月，学習が終わった年と月を書きます。
- (3) この日本語教室で学習している間の大きな目標を書きます。毎回の教室の目標ではありません。全部の教室の学習で，できるようになりたいと思ったことを書きます。
- (4) この日本語教室で学習している間に，できるようになったことを書きます。
- (5) 日本語教室で使った教科書や教材の名前を書きます。プリントなどを使った場合は，このポートフォリオにとじておきましょう。

1	(1)	教室の名前	あさひ日本語教室
	(2)	期間	2010年 4月～ 2010年 7月
	(3)	学習の目標	1)家族のことを話す 2)仕事のことを話す 3)病院へ行く
	(4)	できるようになったこと	1)父，母，つま，こども，おじいさん，おばあさん，おとうと 2)ブラジルで，電子部品の工場で働きました。 3)あたまが，いたいんです。はが，いたいんです。
	(5)	教科書や教材の名前	1)日本語でできること 2)教室のプリント 3)

No. 1		
(1)	教室の名前	
(2)	期間	年 月～ 年 月
(3)	学習の目標	1) 2) 3)
(4)	できるようになったこと	1) 2) 3)
(5)	教科書や教材の名前	1) 2) 3)

No. 2		
(1)	教室の名前	
(2)	期間	年 月～ 年 月
(3)	学習の目標	1) 2) 3)
(4)	できるようになったこと	1) 2) 3)
(5)	教科書や教材の名前	1) 2) 3)

No. 3		
(1)	教室の名前	
(2)	期間	年 月～ 年 月
(3)	学習の目標	1) 2) 3)
(4)	できるようになったこと	1) 2) 3)
(5)	教科書や教材の名前	1) 2) 3)

No. 4		
(1)	教室の名前	
(2)	期間	年 月～ 年 月
(3)	学習の目標	1) 2) 3)
(4)	できるようになったこと	1) 2) 3)
(5)	教科書や教材の名前	1) 2) 3)

No. 5		
(1)	教室の名前	
(2)	期間	年 月～ 年 月
(3)	学習の目標	1) 2) 3)
(4)	できるようになったこと	1) 2) 3)
(5)	教科書や教材の名前	1) 2) 3)

2-2 毎回の学習の記録

【例】

- (1) 今日の教室で学習するテーマを記入します。例) 病院へ行く, 地震, 買い物をする
- (2) 今日の教室で新しく覚えたことばを記入します。
- (3) 今日の教室で新しく覚えた文を記入します。
- (4) 今日のテーマについて, 思ったことを記入します。生活の中で役に立つと思ったこと, 難しいと思った文などを記入します。記入したら, 先生にも見てもらって, 先生の感じたことを書いてもらいましょう。
- (5) 生活の中で, これから使ってみたいことばや文を記入します。

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
	病院へ行く		
(2)	新しく覚えたことば		
	外科, 内科, 小児科, 咳, やけど, 熱, めまい		
(3)	新しく覚えた文		
	どこへ行きますか? どうしましたか? 頭が痛いんです。やけどをしました。熱があります。		
(4)	これから学習したいことばや文		
	くすりのこと		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	びょうきのことは やくにたちます。べんりです。		
	先生のコメント		
	びょうきのなまえは、たんごだけではなく、ぶんで いえるようにしましょう。		

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
(2)	新しく覚えたことば		
(3)	新しく覚えた文		
(4)	これから学習したいことばや文		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	先生のコメント		

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
(2)	新しく覚えたことば		
(3)	新しく覚えた文		
(4)	これから学習したいことばや文		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	先生のコメント		

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
(2)	新しく覚えたことば		
(3)	新しく覚えた文		
(4)	これから学習したいことばや文		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	先生のコメント		

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
(2)	新しく覚えたことば		
(3)	新しく覚えた文		
(4)	これから学習したいことばや文		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	先生のコメント		

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

【今日 学習したこと】

月	日	曜日	先生の名前
(1)	今日のテーマ		
(2)	新しく覚えたことば		
(3)	新しく覚えた文		
(4)	これから学習したいことばや文		
(5)	今日のテーマはどうでしたか。		
	先生のコメント		

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

3. 記録のページ

3-1 生活の記録

【例】

	住み始めたとき	住んでいたところ
例	2010年8月	埼玉県 おおみや市・区

	住み始めたとき	住んでいたところ
1	年 月	県 市・区
2	年 月	県 市・区
3	年 月	県 市・区
4	年 月	県 市・区
5	年 月	県 市・区
6	年 月	県 市・区
7	年 月	県 市・区
8	年 月	県 市・区
9	年 月	県 市・区
10	年 月	県 市・区

3-2 仕事の記録

【例】

	働き始めたとき	会社の名前	仕事の種類
例	2010年 10月	●●電子株式会社	エンジニア

	働き始めたとき	会社の名前	仕事の種類
1	年 月		
2	年 月		
3	年 月		
4	年 月		
5	年 月		
6	年 月		
7	年 月		
8	年 月		
9	年 月		
10	年 月		

3-3 生活上の行為の記録

日本語教室の外で実際にできたことを書きましょう。

【例】

	いつ	どこで	日本語を使って何をしたか
例	2010年 10月	銀行	口座を開いた

	いつ	どこで	日本語を使って何をしたか
1	年 月		
2	年 月		
3	年 月		
4	年 月		
5	年 月		
6	年 月		
7	年 月		
8	年 月		
9	年 月		
10	年 月		